

教行信証はなぜ書かれたか

真宗

みやぎ
宮城 顛著

しずか
顛著 ▼A5判・上製カバー・328頁・本体二、二〇〇円十税

2020年11月刊行



凡夫の救いを追求した親鸞聖人が『教行信証』を書かずにはおれなかった根底を、詳細に説いた熱意溢れる講習会の全記録。受講者の切実な質問に丁寧

【目次】

一、『教行信証』はなぜ書かれたか

一、教えに出遇った者の責任／二、なぜ「文類集」なのか／三、本願の世界から遠い存在／四、「愁悩を生ずる者なし」／五、無辺の生死海を尽くす／他

【質問に答えて】

《質問1》ご門徒に法話をするとき、あまり専門用語は使わないほうがいいのではないですか。／《質問2》吉水教団の在り方にどういふ問題があったのですか。／《質問3》法然上人の「菩提心無用」ということを、親鸞聖人はどのように受けとめられたのですか。／他

二、愚鈍の感覚

一、「愚鈍」として自らを問う／二、精神の傲慢／三、微笑みを失った信仰／四、疑いにとらわれたことのない真理／五、身に纏っているものを問い直せ／他

【質問に答えて】

《質問1》往相回向にも還相回向にも、「共に」という言葉が置かれている意味について。／《質問2》苦惱について。／《質問3》人間の理性への偏りについて。／他

あとがきにかえて

(真宗大谷派三重教区慶法寺住職 藤井慈等)

二、仏教は諸仏の世界

一、浄土の教えとしての「一乗」／二、存在の大きさは出遇ったものの大きさ／三、不回向の行／四、仏教は諸仏の世界／五、「悦服」の道／他

【質問に答えて】

《質問1》『教行信証』を書き始められたのはいつですか。／《質問2》親鸞聖人は、神祇不拝をどのように語られたのですか。／《質問3》名ということについてもう少しお聞かせください。／他

【まとめの講義】

一、寺がおかれている厳しい状況／二、行き詰まりこそが道を開く／他

◆著者略歴

一九三一年、京都市に生まれる。大谷大学文学部卒業。大谷専修学院講師、教学研究所所員、真宗教学研究所所長を歴任。真宗大谷派本福寺前住職、九州大谷短期大学名誉教授。二〇〇八年一月二一日逝去。
主な著書は、『宮城顛選集』全17巻、『正信念仏偈講義』全5巻、『このことひとつ』という歩み―唯信鈔に聞く―、『後生の一大事』念仏が開く世界、『真宗門徒の生活に自信を持つとう』僧にあらず、俗にあらず、『自覚なき差別の心を超えるために』(法藏館)など。

注文書	
(書店印)	様冊
ご担当	法藏館 本体二、二〇〇円十税
宮城 顛著 教行信証はなぜ書かれたか	
ISBN: 978-4-8318-7921-9 C0015	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp